2026 年 第 4 回篠塚和典記念中学軟式野球大会 開催レポート

2026 年 11 月 8 日（日）、晴天の下、銚子スポーツタウンくろしおかもめ球場において「第 4 回篠塚和典記念中学軟式野球大会」を開催しました。

本大会は、野球の普及と競技人口の拡大、選手の技術向上、地域間交流を図るとともに、プロ野球で首位打者を 2 度獲得した銚子市出身の篠塚和典さんの功績を称え、その名を後世に伝えることを目的としています。NPO 法人銚子スポーツコミュニティー、株式会社銚子スポーツタウン、木樽ドリームズが主催し、中学 1・2 年生を対象に、次の 3 チームによる総当たり戦を行いました。

- **旭市立第二中学校**
- **銚子合同**（銚子中学校・銚子西中学校・銚子第一中学校）
- **旭匝瑳合同**（旭市立第一中学校・旭市立干潟中学校・旭市立飯岡中学校・旭市立海上中学校・匝瑳市立八日市場第二中学校）

開会式では、篠塚和典実行委員長と木樽正明副委員長から選手たちへ激励の言葉が贈られ、銚子中学校の主将が選手宣誓を行いました。続く始球式では、木樽正明さんが投手、篠塚和典さんが打者を務め、大会の幕開けを飾りました。試合では、選手たちが日頃の練習の成果を発揮し、懸命なプレーを見せてくれました。また、試合のない時間を活用し、篠塚さんによる打撃指導と木樽さんによる投球指導も行われました。

篠塚さんがバックネット裏で試合を観戦している際には、選手自ら「打撃指導をしてください」と声をかける場面もあり、積極的に学ぼうとする姿勢が見られました。篠塚さんは各チームの選手に手取り足取り丁寧に指導し、選手たちにとって、試合と実技指導の両方を通じて野球を学ぶ貴重な一日となりました。

大会は、旭市立第二中学校が 2 戦全勝で優勝し、銚子合同が準優勝となりました。

最優秀選手には、2 試合で計 6 イニングを投げ、無失点に抑える好投で優勝に貢献した、旭市立第二中学校のエース・寺嶋ひすいさんが選ばれました。寺嶋さんには、篠塚和典さんのサイン入りジャイアンツユニフォームが贈られました。

少子化や人口減少、部活動の地域移行など、中学生の野球を取り巻く環境は変化しており、学校単独でのチーム活動が難しい状況も生まれています。そのような中でも、学校の枠を越えて仲間と力を合わせ、一生懸命にプレーする選手たちの姿が印象に残りました。

試合後に見せた選手たちの楽しそうな笑顔からは、野球をする喜びが伝わってきました。今後も、子どもたちが野球に親しみ、技術を磨き、地域を越えて交流できる機会を大切にしながら、野球の普及と次世代の育成に取り組んでまいります。

大会の開催にご協力いただいた各校の先生方、指導者、保護者の皆様をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

NPO 銚子スポーツコミュニティー
株式会社銚子スポーツタウン
代表　小倉和俊

第一試合	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
旭匝瑳合同	0	0	0	0	0			0
旭二中	2	5	1	0				8

第二試合	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
銚子合同	0	0	0	0	1	0	0	1
旭二中	1	2	0	0	0	0		3

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
銚子合同	3	2	0	0	2	4		11
旭匝瑳合同	2	0	0	2	0	0		4



開会式の挨拶　篠塚和典さん



選手宣誓



始球式　木樽正明さん



始球式　篠塚和典さん



試合前メンバー表交換



試合前整列

試合風景



MVP　寺嶋ひすい投手



バックネット裏で篠塚さんに指導をお願いする選手



選手に打撃指導をする篠塚和典さん



下半身の使い方を指導　篠塚和典さん



バットの構え方を指導 篠塚和典さん



打撃のお手本　篠塚和典さん



ピッチング指導 木樽正明さん





優勝　旭二中



準優勝　銚子合同



3位　旭匝瑳合同



最優秀選手を表彰



指導者の皆様



審判と運営スタッフ
Kリーグの選手